

わかさ 議会だより

緑と清流のまち

第173号

令和2年

11月号

WAKASA TOWN



議会事務局のアドレスへ

決めるぞ!!

- P2～3 令和元年度決算 主な事業
- P4 決算審査特別委員会
- P5 決算審査意見
- P8～9 一般質問
- P12～13 議員検証
- P16 わたしの想い(及川さん)

若桜学園前期ブロック
校外学習の様子

くりに向けて、 進行した!!



児童福祉一般

総額 1052万円



病後児保育室入口

新規 広域入所委託（病児・病後児保育）
（うち 129万円）

商工振興事業

総額 4351万円



人工芝

旧池田小学校体育館屋根改修及び
人工芝敷設事業
（うち 2143万円）

一般会計

歳入38億6924万円(前年比1億2152万円増)、歳出36億2416万円(前年比1億1160万円増)、実質収支額については、翌年へ繰り越す財源を除き、2億841万円(前年比5109万円増)の黒字となりました。以上の決算を認定しました。

がんばる地域プラン事業

総額 5948万円



若桜町精米施設

整備事業
（うち 5899万円）

- 整備事業内訳
- 消耗品：米施設用検査用品、エゴマ機械化推進用品等……31万円
 - 工事請負費：精米施設新築工事前払金……4750万円
 - 備品購入費：キャリアカー……499万円
 - 精米施設検査用品（秤、小型粉摺機等）……619万円

9月定例会

(令和2年9月8日～18日)

令和元年度 決算

より良い町づくり 事業が

災害対策事業

総額 2355万円



若桜町防災マップ作製
(うち 317万円)

地方創生事業

総額 1億3453万円



若桜駅駅ナカ店舗等整備
(うち 2865万円)
若桜駅駅前店舗整備
(うち 8085万円)

主
事

特別会計

事業名	歳入	歳出	一般会計からの繰入金
国民健康保険	4億8075万円	4億5890万円	3814万円
介護保険	6億3142万円	6億1737万円	8697万円
後期高齢者医療保険	5669万円	5662万円	1861万円
簡易水道	1億7170万円	1億7170万円	3420万円
公共下水道	1億2533万円	1億2533万円	7760万円
農業集落排水	1億335万円	1億335万円	5559万円
赤松団地造成	50万円	50万円	6万円
財産区造林	5万円	5万円	なし
索道	2962万円	2248万円	151万円
住宅新築資付金等貸付	78万円	78万円	なし

公民館管理費

総額 3392万円



若桜町公民館耐震補強事業(工事)
(うち 1650万円)

決算審査特別委員会

令和元年度決算認定

委員長 梶原 明
副委員長 小林 誠

審査の経過及び結果

9月8日の本会議において、決算審査特別委員会に付託された案件を審査するため、会期中の10日～17日に当委員会を開催し、執行部の出席を求め、慎重に審査を行いました。当委員会に付託された議案は主なる意見と、

監査委員審

査意見を重く受け止め、行財政の改革に努められることを期待し、認定すべきものと決定しました。



町営バス

主なる意見

一般会計

林業振興費

事業者への機械化整備支援により効率化は進んでいるが、林家に対して収益が上がる施策になるよう努力されたい。

バス運行事業

毎年、委託料等が増額されている。共助交通の試験運行も開始されるが、町民の利便性向上のため、持続可能な交通形態を早期に構築されたい。

氷ノ山集客促進事業

(二財)若桜町観光開発事業団の経営状況は悪化している。地域に及ぼす影響も大きいため、今後の状況を注視されたい。

特別会計

索道事業特別会計・索道管理費

いぬわしリフトは、安全運行に必要な整備が困難な状況にある。整備計画の再検討や廃止を含めた考え方を早急に示されたい。

財政関係指標等

区 分		数 値		
		平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
経常収支比率		84.9%	86.6%	88.5%
実質公債費率（単年度値）		6.6%	7.0%	6.9%
実質公債費率（3年間の平均値）		6.3%	6.7%	6.8%
地方債残高		51億9642万円	55億4801万円	56億4399万円
内 訳	一般会計	33億4629万円	36億7362万円	37億9986万円
	簡易水道事業会計	4億6790万円	5億4505万円	5億8515万円
	公共下水道事業会計	7億2896万円	7億 749万円	6億4969万円
	農業集落排水事業会計	5億2098万円	4億7824万円	4億5570万円
	赤松団地造成事業会計	629万円	591万円	553万円
	索道事業会計	1億2600万円	1億3770万円	1億4806万円
基 金 残 高		22億4751万円	22億9671万円	22億2005万円

監査委員

決算審査意見 (要約)

監査委員 谷口 秀昭

監査委員 山本 安雄

8月18日、20日、21日、25日、28日、9月1日の6日間、令和元年度各会計歳入歳出決算書、事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数と歳入歳出整理簿等関係諸帳簿・証書類を照合した結果、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めた。

また、会計における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高等と符合しており、適正であると認めた。

なお、基金における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高等と符合しており、適正であると認め、新たに森林整備促進基金が設置されていることを確認した。

留意、検討事項

(1) 財政運営の指標

財政関係指標等（P. 4の表参照）の数値は、経常収支比率は前年度比1.9ポイント上昇した。これは、人件費及び公債費の増加が主な要因となっている。この率は4年連続で上昇しており、指針となる70%に向けた改善努力が望まれる。

(2) 固定資産台帳

- ・公有財産については、新公会計導入に固定資産台帳が整備された一方で、従来から使用してきた公有財産台帳との二元管理となっている。現有資産との整合性に留意されたい。
- ・備品は公金により取得された町の財産である。現品の状態を適正に表示できているかを備品台帳と照合し、チェックを確実に行われたい。

(3) 財産の活用について

町が保有する財産（土地・建物）のうち、十分な活用がなされていないもの、利活用方策等の検討が進んでいないものがある。その経緯や要因を分析し、新たな活用方策の検討を進めるなど適切な管理が必要である。

(4) 各種税と使用料等について

- ・町税ほか各種保険料等については、現年度分の収納率はすべて99.5%以上で、滞納繰越分を含めても97.3%となっており、対前年比で1.2ポイント上昇し評価できる。
- ・各種使用料の徴収率は、僅かではあるが減少傾向である「新たな滞納者を出さない。」という強い姿勢で滞納額の削減に努められたい。

※その他、地籍調査の推進、特産品開発支援事業、迎賓館管理運営事業、納税組合のあり方、移住

定住促進事業、若桜町「業務継続計画」の推進、町誌編纂事業について意見がありました。

まとめ

令和元年度一般会計の決算額は、歳入歳出差引残額2億4508万円で、繰越財源を控除した実質収支は2億841万円の黒字決算となっている。

また、特別会計（10会計）の実質収支額では、8会計が一般会計から繰り入れを受けている。

財政運営の実質公債費率は0.1ポイント上昇している。元利償還金が増加し、普通交付税額等が減少したことによる。人口減少が進むことにより、交付税も減少することが予想され、大型事業が増加するとこの比率が一気に上昇する恐れがある。併せて、老朽化しているインフラ更新は必要に迫られており、基金の裏付けがあるにしても財政的には余裕があるとは言い難い。

また、将来負担比率が0.2%から△3.8%と4ポイント減少した。これは基準財政需要額算入見込額が将来負担額を上回ったことによるものである。しかし、地方債現在高はこの4年間で713百万円増加している。

新型コロナウイルスによる経済の悪化が影響しており、今後、事業を検討する場合は、公債の発行と基金の取り崩し等についてバランスを取って行くことが必要と思われる。

今回の決算審査資料に、成果と課題が記載され事業の検討された点は評価できる。課題については十分に検討され、合理的且つ効果的な行政運営が行われるよう期待している。

その他	工事請負契約の変更契約の締結について 工 事 名 令和元年度（H30年災）大道中江線林道災害復旧工事（3号箇所） 契約の相手方 中一建設株式会社 変 更 前 1億5235万円 変 更 後 1億3778万6000円（1456万4000円の減額）		可決
	若桜町教育委員会委員の任命について 若桜町教育委員に、伊井野 早苗さんを任命するもの。		同意
陳情・請願	核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情書 日本政府がすみやかに核兵器金禁止条約に調印し批准することを求める意見書の提出	委員会審査結果 不採択	不採択
	中之島町関係施設への防犯灯設置早期実施に関する陳情 中之島町関係施設への防犯灯設置早期実施について	委員会審査結果 採択	採択
	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願 子どもたちのいのちと健康を守り、成長と発達を保障するため、教職員増と教室確保を国の責任で行う意見書の提出	委員会審査結果 不採択	不採択
	積方財政の充実・強化を求める陳情 2021年度の政府予算と地方財政の検討にあったては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざす意見書の提出	委員会審査結果 採択	採択

討論

賛否の分かれた議案

決算

氏 名	梶原 明	青木 一憲	山根 政彦	山本 安雄	小林 誠	前住 孝行	中尾 理明	山本 晴隆	川上 守	結 果
令和元年度一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	×	○	議	採択

原案反対 中尾理明

本決算中、任意の運動団体の解放同盟高野支部への補助金は認められません。同和対策事業は、平成14年の特別措置法失効により法的根拠はなく、同和行政終了自治体に対する平成28年最高裁判決でも明らかのため反対します。

陳情

核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情書	×	×	×	○	×	○	○	×	議	不採択
-------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

原案賛成 中尾理明

2017年7月、史上初の核兵器禁止条約が、国連加盟国約3分の2、122カ国の賛成で採択されました。今年8月、44か国が条約を批准し、発効の50か国まであと6か国。被爆国日本は直ちに調印、批准すべきなので賛成します。

請願

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願	×	×	×	○	×	×	○	×	議	不採択
-----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

原案反対 梶原 明

都市部の利便性を考える前に、数年先には子どもの減少で複式学年も想定される。まず、若桜学園に対する施策の検討が必要のため反対します。

原案賛成 中尾理明

少人数学級は、一人ひとりの子どもに目が行き届き、それぞれの子どもの成長が促される環境ができると考えます。若桜学園のような教育となるよう、法改正を含め少人数学級、20人学級の早期実現が必要のため賛成します。

原案賛成 山本安雄

コロナ禍によって通常の授業が行われない状態が続きました。また、児童・生徒に心的外傷後ストレス障害が生まれる可能性がある。よって賛成します。

一目でわかる 審議結果

第5回議会臨時会 7月14日

予 算	令和2年度若桜町一般会計補正予算（第3号） 1億117万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、42億5589万円とした。	可決
	公の施設の指定管理者の指定（若桜町精米施設）について 施設名称 若桜町精米施設 指定管理者 有限会社 若桜農林振興 指定管理の期間 令和2年9月7日から令和5年3月31日	可決
	工事請負契約の変更契約の締結について 工事名 若桜町農産物処理加工施設（精米加工施設）新築工事 契約の相手方 こおげ建設株式会社 変更前後 1億1880万円 変更後 1億2141万8000円（361万8000円の増額）	可決
	製造請負契約の変更契約の締結について 工事名 若桜町農産物処理加工施設（精米加工施設）プラント設備製造請負工事 契約の相手方 ヤンマーアグリジャパン株式会社 変更前後 5258万円 変更後 5328万5100円（70万5100円の増額）	可決
	損害賠償の額を定めることについて 損害賠償の額 7万4470円 事件の概要 除雪作業中に、排土板からあふれた雪で納屋のトタン壁を破損させたもの。	可決
	その他	

第6回議会定例会 9月8日～18日

決 算	令和元年度若桜町一般会計歳入歳出決算	認定
	令和元年度若桜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	
	令和元年度若桜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算	
	令和元年度若桜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	
	令和元年度若桜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	
	令和元年度若桜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	
	令和元年度若桜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	
	令和元年度若桜町赤松団地造成事業特別会計歳入歳出決算	
	令和元年度若桜町財産区造林事業特別会計歳入歳出決算	
	令和元年度若桜町索道事業特別会計歳入歳出決算	
	令和元年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算	
補 正 予 算	令和2年度若桜町一般会計補正予算（第4号） 8846万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、43億4435万円とした。	可決
	令和2年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 1693万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、4億6818万円とした。	可決
	令和2年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 1675万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、7億2713万円とした。	可決
	令和2年度若桜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 7万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、6059万円とした。	可決
	令和2年度若桜町簡易水道事業特別会計予算（第2号） 360万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、2億8210万円とした。	可決
	令和2年度若桜町公共下水道事業特別会計予算（第2号） 199万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、1億6332万円とした。	可決
	令和2年度若桜町農業集落排水事業特別会計予算（第1号） 202万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、6599万円とした。	可決
	工事請負契約の締結について 工事名 若桜町地域福祉センター改修工事 契約の相手方 こおげ建設株式会社 契約金額 1億1085万8000円	可決
そ の 他	損害賠償の額を定めることについて 損害賠償の額 11万6490円 事件の概要 刈払機で除草作業中、飛び石により、車の窓ガラスを破損させたもの。	可決
	東部鳥取県広域行政管理組合規約の一部変更について 共同処理する事務のうち「可燃物処理施設の建設に関する事務」を「可燃物処理施設を設置し、その管理運営に関する事務」に改める。	可決

詳しくは

若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録

9月議会定例会の一般質問は、9月9日に行われ、2人の議員が町政の課題について質問しました。

質問の要旨と町長・教育長の答弁は、質問を行った議員が要約して掲載しています。



質問者

中尾 理明 (P 8)

青木 一憲 (P 9)

【A】(町長) 平成27年度導入した高原の宿氷太くんの木質チップボ

【Q】第9次現総合計画後期計画に木質バイオマスエネルギーの活用として、木屑焚ボイラー・木質チップボイラー導入の効果検証、改善策の策定等を行うとされていますが、現状を伺います。



中尾 理明

自然エネルギーの活用

木質バイオマスで
環境に優しい町づくりを
持続可能な社会・
地球温暖化防止に寄与



チップパー

イラーについて、木質チップは需要安定により林業経営の下支えとなっています。
ボイラーの稼働による灯油削減量は年間41キロリットル、この二酸化炭素排出削減効果は、年間約100トンに相当し、温室効果ガスの削減となりました。持続可能な社会実現に向けて、地球温暖化防止に取り組みます。光熱費については、化石燃料価格の下落で削減



木屑焚ボイラー

効果は得られず、チップと灯油の価格の補助制度により、安定稼働を達成しています。
平成25年度、木質資源加工センターとしての役割を担うウッドイ若桜に導入した木屑焚ボイラーについては、導入後灯油使用は85%の削減、重油は77%の削減につながっています。燃料費も導入前3,000万円程度から、現在は1,000万円程度と大幅なコスト削減につながっています。二酸化炭素排出削減効果は年間681トンで、地球温暖化防止に寄与しています。

コロナ感染症対策

個人事業主にも
傷病手当支給を
今は考えていない
が、拡大時に協議

【Q】国の新型コロナウイルス感染症対策により、国民健康保険加入者で、新型コロナウイルス感染症感染又は発熱等の感染等の疑いの場合、これらの方々を対象に傷病手当金の支給が決まりましたが、これには個人事業主は含まれていません。個人事業主といえども、新型コロナウイルスへの感染可能性は同じです。

岩美町では、自営業者、漁業者、保険外交員等にも傷病手当金の支給を行うよう180万円予算化されています。若桜町も同様に、対応すべきではありませんか。

【A】(町長) 今般の新型コロナウイルス感染

症対策については、国内で労働者が感染、または、疑いのある場合に休暇取得しやすいことが重要で、国が感染拡大防止の観点から、保険者に傷病手当の支給を促し、国民健康保険でも国が緊急、特例として実施したものと承知しています。

岩美町では、大工さんなど、1人事業者の方が多い地域の特性を考慮して、個人事業主に傷病手当金を支給に至ったことです。県内では、岩美町以外には実施されていません。本町としては、就業形態なり、近隣自治体の対応などをふまえ、今は個人事業主への支給は考えていません。今後、状況が変化し、感染が拡大する様になれば、その都度協議はしたいと思っています。

Q 一般質問 A



青木 一憲

Q 観光の町を目指してきました。矢部町政となり、駅中・駅前店舗も完成し、受入れ状態は整いつつあります。前町長時代から、議会からも「駅裏を埋立て公園やイベント会場にしては」と意見していますが、いまだ計画も見えてきません。現在どのようなことが検討されているのか、所見を伺います。

駅周辺整備

駅裏を埋め立て公園やイベント会場にしては

町民と協議していく

A (町長) 駅周辺整備については、本年度策定予定の総合計画、総合戦略の策定過程において検討していきたいと考えており、現在第9次若桜町総合計画後期計画及び若桜町総合戦略の検証を行って、検証結果や新規計画策定に向けて行った住民アンケートの集約結果も考慮し、有意義な活用とするため、イベント会場等に限らず本当に必要なものを精査し、様々な活用方法について、町民と協議検討していく必要があると考えています。

Q 駅裏の活用の1つとして、JAの旧選果場に子供たちが1日中

楽しめる体験施設（鉄道のジオラマ）にし、少しでも町にお金が残る仕掛けを考えたい施設にしてはと考えますが、所見を伺います。

A (町長) 鉄道のジオラマは、鉄道愛好者また、親子連れ等に大変人気があります。しかしながら、一定の誘客を行える施設とするには多額の経費を要することが想定され、集客を維持するためのランニングコストも相当額が必要と聞いており、現在造ることは得策ではないと考えています。

Q 宿泊施設は、若桜宿内にはありません。氷ノ山には宿泊施設がありますが、求められているのは、駅周辺の宿泊だと思えます。JAの旧米蔵やブルートレインを水戸岡氏にデザインしていただき、宿泊施設として活用す

ればと考えますが、所見を伺います。

A (町長) 既にブルートレインや旧米蔵については、水戸岡先生には御覧いただいております。活用方法のアドバイスをいただいております。ブルートレインを宿泊施設にする場合の意見も当然いただいております。ただ造ることはできませんが、誰が整備し、運営していくのか十分な吟味が必要です。未来ビジョンプロジェクトでも検討はしていただいておりますので、町としても動向を注視しつつ協力や支援を行っていきたくと考えています。



ブルートレイン

Q 人口減少、高齢化が進む中、駅を中心に生活に必要な施設を集積した場所にしてはと考えますが、所見を伺います。

A (町長) 駅を中心に各種施設等を集約し、コンパクトタウン的な機能を持たせることで生活等における利便性が図れると考えており、駅前の空き家なども活用すれば、一定の施設の集約は可能だと考えます。ただ、仮に実施するとすれば、町内の公共交通機関や事業者間の調整等、抜本的な変革が必要であり、整備計画も現状を把握した上で、町民の意向も把握しながら、策定していく必要があると考えています。

〈その他、「火災予防について」質問しました。〉

令和2年度 一般会計補正予算(第4号) 補正額 8846万円 増額

中山間地域等直接支払制度

217万円



傾斜度算定資料作成の委託及び
取組み面積の増加によるもの
29→30協定 総面積 1326904㎡

総額
43億
4435万円

バス運行事業

356万円



(うち 276万円)
日本交通若桜路線維持補助金
コロナ禍等の影響により赤字補填するもの

商工振興事業

2204万円



(うち 100万円)
オープン後の利用に際し、不具合を生じて
いる個所について改修を行うもの

令和元年度議員座談会における 議会に対するご意見・ご要望などに対する議会の検証結果

昨年度に開催した議員座談会には、36会場、300名の方にご出席をいただき、多くのご意見をいただきました。議会に対するご意見・ご要望について、町民の皆様の信託に応えるため真摯に検証してまいりました。その結果をまとめましたのでお知らせします。（本年2月に発行した議会だより170号において、議員座談会のまとめ（抜粋）を掲載しています。）

■議会活動について（ご意見・ご要望など：●、議会の検証結果：■で表示しています。）

- 将来ビジョンを持って、議会活動をしてほしいです。
- 町が政策立案する計画、構想などについて、計画の段階から常任委員会が所管事務調査として取り上げています。また、議会からも執行部に具体的な政策の提言・提案の拡大などに努め、今後も検討を重ねていきます。

■調査研究について

- 岡山県の新庄村など、小さくても町づくりを立派にやられている事例を調査してほしいです。
- 町政の課題に関する調査・研究のため必要があると認めるときは、議決により目的を明らかにしたうえで調査研究を実施しています。視察先等は、住民の意見や議員の提案により委員会等で継続して協議していきます。

■議会報告会（議員座談会）について

- ・このような報告会が必要でしょうか。
 - ・参加した町民だけしゃべって、議員の方は言いたいことはないのでしょうか。座談会になっていません。
 - ・座談会は来年もされるのでしょうか。
- 議決機関である議会がどのように運営し、議員がどのように判断したかなどについて説明責任を果たすことは重要です。町民の切実な訴えを聴き、議会活動に反映させるよう努力します。また、今後の議会報告会（議員座談会）のあり方については、慎重審議して決定していきます。

■公開委員会について

- 議会の傍聴者が決まった人ばかりです。土日の夜などに、若桜町公民館を会場に公開の委員会はできませんか。
- 傍聴していただきやすいよう、各委員会の開催日なども予め公表するなどPRに努めていきます。また、「町民に開かれた議会」を目指し、傍聴しやすい環境を作ることは必要であると考えています。

■会派について

- 会派をなぜ作ったのですか。
- 「信頼ある開かれた議会活動を実現すること」を主な目的とし、「若桜町議会自民党 桜会」が結成されました。

議長の総評

日頃から、議会に対する住民の関心度が低い状況にあると感じているなか、議会では当たり前のように行っている活動などについて、住民の皆様から率直なご意見やご指摘をいただいた。住民ならではの「気づき」を大切にしながら、反省、検証を重ね、一層の改革を心掛ける必要がある。

また、議会は住民に対して情報を公開し、町が行う事業や、審議、議決についての説明責任も求められている。議会に課せられた役割に正面から取り組み、住民の期待に応えることが大きな使命であるという認識のもと、議員一人ひとりがこれまで以上に努力すべきである。

②「議会活動・議員活動・日頃感じていること」について (〇は議員から出た意見などの要約。⇒は協議検討結果)

「議会活動」

- 1委員会となり、議員全員で集中審議できる状況ができた。
⇒議員全員で相互理解を深めていく方がメリットは大きいと考える。
- 会派ができて、会員の思いや考え方の方向性が決めやすくなった。また、執行部との連携を図り、実現に向けて行動していきたい。
⇒会派全体の考え方が重要であると感じる。
- 委員会等において発言の少ない議員が多い。町民の代弁者としてどうなのか。⇒住民代表としてしっかり発言すべきという強い思いを持つべきである。
- 1委員会になって議論がしにくくなり、熟議されないまま多数決で進める形だけの議会運営になっていないか。独立した全協の役割が薄れていないか。
⇒1委員会になったからといって簡略されているわけではない。熟議しなければならないことはしっかりと議論すべきである。
- 少数意見でも認めあえる議会でありたい。
⇒他の議員に理解してもらう努力と、それに耳を傾ける議員の協力がないと、物事は進んでいかない。相互の理解が必要である。
- 委員会等の要点会議録やインターネット公開を進め、開かれた議会に。
⇒HPで公開されている会議録は本会議のみであるが、各委員会の会議録は開示請求により閲覧可能。また各委員会の傍聴に来ていただきやすくするため、予め開催予定を周知することを検討中。
傍聴は、基本的には委員会等も可能。
- 一般質問をする議員が少ない。
⇒義務ではなく権利であり、議員個々で考えるべきである。

「議員活動」

- 議員個々の考えを主張するのも大事だが、議会場として協議し、理解される努力が必要。常に意識し行動したい。
⇒他の議員に自分の思いを理解してもらう努力が必要である。
- コロナ社会に対応した方法も考えながらイベントや集会等に参加し、町民の声を聴く機会をつくりたい。
⇒新型コロナウイルス感染症予防対策により会合等のスタイルや規模の縮小など様式が変わっても、住民の声を聴いて議会に活かすことは当然のことである。
- マニフェスト実現のため、有言実行を基に忖度なしで何事にも取り組んでいく強い姿勢を示したい。
⇒何事にも、議員としての自信や誇りを持って行動すべきである。

「日頃感じていること」

- 自分の考えをしっかりと述べるように努めたい。
⇒どんな場面でも遠慮することなく発言すべきである。
- 検証はそもそも、常に議員自身が検証し、考えることだと思う。この検証が本当に必要なのか検討すべきと考える。
⇒議員全員で協議しながら進めていく。

議長の総評

目標に向けた強い意志、意欲的な活動など、自己検証では見えてこない議員の思いが明らかになった一方で、議員個々の課題や議会の課題なども改めて明らかになった。これらについて複数回の協議を行ってきたところではあるが、品格ある言動と高い使命感のもとに自らの創意と研鑽を積み、公正性・透明性を基本とした活動を行うべく、議員の資質向上と自己改革、議会の活性化に努めていくことが重要である。そのための課題や目標を明確にし、その克服や達成のため一層の努力が必要である。

議会基本条例に基づく検証について

若桜町議会基本条例は、「若桜町議会議員政治倫理に関する決議」に基づき、議会運営及び議員に係る基本事項を定め、活力ある豊かな地域づくりと町民の福祉向上に資することを目的として平成21年9月に制定されました。この検証は、同条例第18条（※）の規定により、昨年度同様、議員倫理などをはじめ議員力の向上や議員の自己改革促進を重視した10の評価項目に対し、自己評価を実施したものです。併せて、「議会活動・議員活動・日頃感じていること」を各自が議長に提出し、議員の資質向上のため議会改革調査特別委員会において協議を積み重ね、議会全体としての共通認識を深めてきたところです。検証の結果を議長の総評によりまとめましたのでお知らせします。

（※）第18条 議会は、毎年議会運営及び議員活動がこの条例に即しているか、検証しなければならない。

令和元年度議会基本条例に基づく議員検証（自己評価）結果

☆最高29点 ☆最低25点 ☆平均27.6点（40点満点中）
（昨年度 ☆最高30点 ☆最低20点 ☆平均25.3点）

※議員個々で自己評価したものです。

（単位：人数。（ ）内は前年数値）

質 問		4 よくできた	3 できた	2 であまり できてい ない	1 でまっ たな か つ た	平 均 点
1	町民の信頼に値する高い倫理観に徹し、品格と見識を養い、清廉潔白な言動に努めたか。	0 (0)	9 (5)	0 (4)	0 (0)	3.0 (2.6)
2	政治活動において、議員の職責を逸脱しないよう努めたか。	0 (0)	8 (7)	1 (2)	0 (0)	2.9 (2.8)
3	自主的に研修に努め、見識を高めたか。	1 (0)	1 (1)	6 (5)	1 (3)	2.2 (1.8)
4	個別な事案の解決だけでなく、町民全体の福祉の向上を目指し活動できたか。	0 (0)	6 (2)	3 (7)	0 (0)	2.7 (2.2)
5	議会審議において、議員と町長等執行部機関及びその職員との関係は、緊張感の保持に努めたか。	1 (1)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	2.9 (2.9)
6	議会が言論の府であること及び合議制機関であることを十分に認識し、積極的に意見を述べたか。	0 (0)	8 (7)	1 (2)	0 (0)	2.9 (2.8)
7	政策立案能力を高め、政策の提言、提案の拡大に努めたか。	1 (0)	3 (4)	5 (4)	0 (1)	2.6 (2.3)
8	自分の職責である仕事を他に転嫁せず、自らが責任をとるという態度で行動できたか。	0 (0)	8 (7)	0 (1)	1 (1)	2.8 (2.7)
9	職務に関する新しい知識や情報に強い関心を持ち、日頃から広く情報を収集し、活用できたか。	0 (0)	7 (7)	2 (1)	0 (1)	2.8 (2.7)
10	自己中心的な言動によって同僚議員との信頼関係を損なわないよう、良好な雰囲気づくりに努めたか。	1 (1)	6 (4)	2 (4)	0 (0)	2.9 (2.7)
合 計 （最高 40点）						27.6 (25.3)

① 検証結果について

今年度の平均点数は27.6点で、昨年度の25.3点と対比して2.3ポイント高くなり、平均点を大きく下回る議員がなかった。また、個人の合計点数は、昨年度と比較して3点上昇した議員が2人、5点以上上昇した議員が2人いる。さらに、質問項目においては、今年度平均点と前年度平均点を比較したところ、問5以外の項目において平均点がすべて上昇し、中でも問1・問3・問4・問7については大きく上昇している。

議長の総評

これらは、自主的な研修に努めたり、政策の提言・提案に努めたりしたと評価した議員が多くいるためもあるが、若桜町議会議員政治倫理に対する議員の意識が深まり、議員個々、議会全体の活動が浸透しつつあり、検証の成果が見られると判断できる。今後のあるべき自己の姿を設定し、住民の目線に立った議会活動・議員活動を引き続き行っていくことが重要であるとする。

常任委員会報告(抜粋)

第7回 8月17日 月曜日

8月臨時議会が中止になったため、委員会も中止になった

第8回 8月24日 月曜日

若桜鉄道を中心とした観光施策について意見交換

- 観光協会、観光関係団体等での観光商品の開発について
 - ・まずは観光協会の組織改革が必要で、各関係団体との連携を強化し、商品開発につなげていくべきなど意見が出された。
 - 宿内での宿泊施設の整備について
 - ・迎賓館の活用が当初の目的を達成していない。今後の迎賓館のあり方を考える必要がある。
 - ・農協の倉庫、ブルートレインを活用しての宿泊施設などの意見があったが、宿泊目的並びにターゲットの絞り込みも必要など意見が出された。
 - 若桜鉄道駅裏の埋め立て(公園化)・選果場の利用について
 - ・中之島公園と一体化した公園化が必要だが、将来像を描き計画をはっきりしていただきたいなどの意見が出された。
- ※ 観光施策については、意見交換を数回行う予定



迎賓館

第9回 9月2日 水曜日

令和2年第6回若桜町議会定例会上程議案(補正・条例等)について

- 教育委員会事務局
 - ・給食センター費など
県産水産物学校給食提供事業及び炊飯用食缶の購入費の補正
- 総務課
 - ・非常備消防費など
自衛消防施設等整備費補助金(ポンプ格納庫)
- ふるさと創生課
 - ・バス運行事業など
日本交通若桜路線維持補助金
公共交通空白地有償運送導入・運行支援事業補助金
- 税務課
 - ・町税過誤納還付金など
固定資産税の課税誤りによる、平成24年度から令和元年度の過徴収税額の還付金及び還付加算金を支払うための補正
- 町民福祉課
 - ・健康増進事業など
エゴマ油の消費拡大に向けたモニター事業を実施するにあたり、エゴマの効果を判定する指標の筋肉質の改善を検証するための機器購入
- 農林建設課
 - ・町道新設改良事業など
消雪点検の結果、三倉・農人町線に係る除塵機を緊急修繕する補正
- にぎわい創出課
 - ・商工振興事業など
にぎわいプラザ改修工事による増額補正



エゴマ

■ 総務産業教育民生

第5回 7月9日 木曜日

月例常任委員会及び7月臨時議会上程議案(補正・条例等)について

- 教育委員会事務局
 - ・若桜学園管理費など
消毒液、マスク等の保健衛生用品等の整備
- 総務課
 - ・災害対策事業など
非常持ち出し品セットを全戸配布
- 農林建設課
 - ・農業振興費など
企業・団体等と連携して地域農業の振興や活性化を図る地域への支援事業
 - ・公の施設の指定管理者の指定（若桜町精米施設）について
若桜町精米施設の指定管理者に有限会社若桜農林振興を指定する説明
- 町民福祉課
 - ・ひとり親家庭福祉費（児童扶養手当）
ひとり親世帯臨時特別給付金・若桜町ひとり親世帯臨時特別給付金
 - ・工事進捗状況及び工事内容把握
 - （1）ゆはら温泉源泉洗浄（メンテナンス）進捗状況の調査
 - （2）ゆはら温泉浴槽改修工事進捗状況の調査
 - （3）地域福祉センター空調設備及び休息室から浴室への改修工事内容調査
- ふるさと創生課
 - ・若桜鉄道対策事業及びバス運行事業
新型コロナウイルス感染拡大防止対策
- にぎわい創出課
 - ・氷ノ山集客促進事業
「いって応援！わかさ氷ノ山GOGOバーベキュー補助金」



非常持ち出し品セット



バーベキューで賑わう氷ノ山

第6回 8月6日 木曜日

防災に係る意見交換（総務課）

- ・水害時のシミュレーションについて
今年3月に全戸に配布されて防災マップをもとに、水害時のシミュレーションの大切さなどの意見が出された。
- ・避難所の安全性について
今一度、自治会長などと避難所の安全性を確認するなどの意見が出された。また様々な災害の状況でどの避難所を使用するべきか、日頃から協議の必要性がある。新型コロナウイルス感染症の対応の意見が出された。
- ・備蓄品の分散化について
現在の分散状況の説明後、意見が出された。

高原の宿氷太くんの法面工事の設計変更について（にぎわい創出課）

押さえ盛土の撤去が困難なため、掘削範囲を減少させバックホウ混合による地盤改良を実施し対応する。また、盛土の量を減少させ法面への荷重を減らす。

若桜鉄道利用促進事業について（ふるさと創生課）

SNSを活用し、若桜鉄道及び沿線の魅力の周知を行うことで、誘客等につなげる。
若桜町負担額 342,684円

わたしの想い

このコーナーでは、町民の皆さんからの御要望や率直なご意見を紹介いたします。



「存続させる為には……」

及川 耕来さん
(小船)

去年12月1日に、兵庫県神戸市から若桜町へ移住してきました。住居は小船の祖父母が生前住んでいた家で、生まれてから毎年遊びに来ていた僕にとっての第二の故郷です。移住を決めた理由は、都市部の開発などで街の個性を消し、何でもかんでも綺麗にしようとする多数派の偏った考えに嫌気が差したこと、豊かな自然に囲まれた環境で制作に集中すること、僕が記憶している小船の原風景を取り戻すことなど沢山あります。僕はThe rooms (to the other side)というシューズブランドを運営しており、靴のデザインから制作まで全行程を手作業で行い、これまで展示会を中心に関西圏で活動してきました。今年12月1日からチャレンジショップにて、これまで作ってきたものとは違う新ブランドの店舗オープンを計画しております。この店では、商品の売り買いで終始せず、お話だけでも行きたくなるような、人が集まる交流・憩いの場を目指していきたいと考えております。基本的には若桜町だけでなく、県外や海外の方からも興味を持って頂けるような面白い存在でありたいですが、地元の方とも楽しく交流したいと思っています「第一印象で怪しく思われるかも知れませんが」「怪しい者ではありません」。若桜町の特徴として、外からの情報・価値観に対して閉鎖的であるというのをよく耳にしますが、そんなに拒絶しているようには見えなくて、怖がっているというのが僕の印象です。知らない世界に飛び出す飛び込む。これを町役員、町民が一丸となって出来れば、注目を集め、人口も増え、町の発展に繋がると思います。そうです。つまり、何が言いたいのかというと、僕は怪しい者ではありません。



意見・写真をお寄せください メール gikaidayori@town.wakasa.tottori.jp

QRコード



あとがき

若桜の山々も美しく色づきははじめ、朝夕の冷たい空気とともに、心が洗われる気がします。

さて、今回の議会だよりは、議員検証結果のまとめ、並びに、昨年行った「議員座談会」のまとめを掲載しております。皆様から頂いたご意見を大切に、日々の議会活動を行っています。

これからも、議会に対してのご意見や、議会だよりのご感想をお待ちしております。

(記 山根 政彦)



議会だより調査特別委員会
委員長 梶原 明
副委員長 山本 安雄
委員 山根 政彦
委員 青木 一憲
議長 川上 守